

令和7年度 自己評価結果報告書

学校名

成田市立吾妻中学校

1 学校教育目標

次代をひらき、心豊かにたくましく、生きる力を身につけた生徒の育成

2 本年度の重点化された具体的な目標

- ・生徒が生き生きと自己実現を目指す学校
- ・生徒が自分の居場所をもち、他と協力し合って活動できる学校
- ・生徒が未来に向かって夢や希望を育む学校

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策
教育課程 学習指導	教職員は生徒の教育に熱心に取り組んでいるか。	91%の保護者が「取り組んでいる」と回答した。	A	今後も魅力ある教育課程を編成し、学校教育目標の具現化に努める。
	生徒は、体育祭や修学旅行等の学校行事を楽しんでいるか。	94%の保護者が「楽しんでいる」と回答した。		
生徒指導	セクハラや体罰のない学校づくりに努めているか。	89%の保護者が「努めている」と回答した。	B	教育相談研修会等を通して、職員が生徒の声に耳を傾ける意識をより高める。
	教職員は生徒の話をよく聞くなど、相談活動に努めているか。	83%の保護者が「努めている」と回答した。		
特別支援 教育	学校には、生徒誰もが役割をもち、認められる場があるか。	89%の保護者が「ある」と回答した。	B	校内就学指導委員会等を通して生徒の特性を共通理解した上で、丁寧に支援する。
	学校は、生徒一人一人に必要な支援を行っているか。	78%の保護者が「行っている」と回答した。		
道徳 人権教育	学校は、生徒の間違った行動に対してきちんと指導しているか。	83%の保護者が「指導している」と回答した。	B	アンケートによる実態把握を行い、いじめ撲滅運動等を通して生徒の心を育成する。
	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに努めているか。	80%の保護者が「努めている」と回答した。		
保健 安全管理	学校は、学びの環境として、適切な校舎内外の環境づくりに努めているか。	94%の保護者が「努めている」と回答した。	A	安全点検を形骸化させないよう、危険箇所については速やかに修繕する。
	学校は、生徒の事故防止や安全に力を入れているか。	92%の保護者が「入れている」と回答した。		
保護者、地 域住民との 連携	学校は、家庭や地域とよく連携しているか。	85%の保護者が「連携している」と回答した。	B	学校だよりやホームページを充実させ、学校や生徒の様子を地域に発信する。
	学校は、保護者の知りたい情報を文書や学校・学年だよりで伝えているか。	94%の保護者が「伝えている」と回答した。		

4 自己評価の結果の分析

今年度は、教育課程の編成や体育祭・修学旅行等の学校行事、情報発信等について、保護者及び生徒から肯定的評価を多くいただいた。行事の参観やオープンスクール期間の取組を充実させることで、生徒たちの活躍の場を多くの保護者の方にご参観いただいたことがこの結果につながったものとする。多くの生徒に充実感や達成感を味わわせることもできたとする。

生徒一人一人への丁寧な指導や、いじめ・不登校等への対応については、より一層の工夫が求められているとする。生徒の適正に合わせた個別の支援について、ケース会議や校内就学指導委員会等を適宜開催し、改善していく。

オープンスクールや保護者会、体育祭、合唱コンクール等の、保護者を招いての行事については、今年度同様充実させていくとともに、より保護者に参観していただく機会の充実に努めていく。